

平成27年度 評価・反省

ゆたか児童クラブ

<p>全体として</p>	<p>健康面では、子ども達が自発的に病氣予防に取り組み姿が見られ、健康的な生活習慣を身に付ける事が出来たと感じる。風邪をひいたり、体調を崩す子どもも少なかった。老人ホームのお年寄りや、地域と関わる機会が少なかったように思われるので、様々な企画を考え、関わる機会を増やしていきたい。</p>
<p>養護的な部分として</p>	<p>子どもの意志を尊重するよう心掛け、活動に取り組みことで、一人一人が伸び伸びと生活できる環境づくりを意識した。自分の役割に対し、責任を持って取り組みよう、当番活動では声掛けをしながら見守ったり、援助を行った。子どもへの言葉かけや一緒に遊ぶことを心掛け、積極的にコミュニケーションを取り、友だちと仲良く過ごせるような配慮も行った。</p>
<p>健康・人間関係・環境 言葉・表現について</p>	<p>戸外遊びの時間を多く設ける事で、丈夫な体作りへとつなげた。子ども一人一人の性格を把握し、それぞれの子どもに最適な対応をとるよう努める事で、職員や友だちと安心して過ごせる環境づくりを意識した。掃除や庭の石拾い、草むしりを通して、環境美化の意識も高めた。乱暴な言葉遣いをしないよう指導し、自分の気持ちや意見を言葉で伝えられるよう誘導したり、援助した。季節や行事の製作を通して、自己表現する楽しさを感じられるようにした。</p>
<p>老人ホーム交流</p>	<p>交流会を通して、老人ホームのお年寄りやコマづくりを行ったり、製作したコマを使って一緒に遊び、交流を深めた。一緒に製作することで、お互いに打ち解け、積極的にコミュニケーションが取れていると感じた。長期休みに、ケアハウスの食堂を借りる際には、お年寄りやあいさつを交わしたり、少し話をする時間も設ける事が出来た。</p>
<p>地域との関わり</p>	<p>老人ホームのお年寄りや製作を行ったり、土曜保育時には、保育園児とも関わる時間を設ける事が出来た。周辺のゴミ拾いや散歩を通して、自分たちが普段生活している地域に対する関心を深めた。土曜日だけでなく、長期休みや早帰りの日などを利用して、もっと地域との関わりを増やしていきたい。</p>
<p>小学校との連携</p>	<p>学童への登園が遅くなったたり、登園していない子がいた際には、連絡を取り合い、状況確認を行った。小学校や学童での子ども様子について情報交換を行ったり、子どもへの対応方法などについても話し合う事が出来た。</p>
<p>保護者支援</p>	<p>お迎え時に、学童での様子を伝えたり、家庭での様子を教えてもらうなどの情報交換を図った。保護者の心配事など相談しやすい環境づくりに努めた。クラブだよりでは、普段の学童の様子や子ども達の過ごし方が、保護者へわかりやすく伝わるよう工夫し、作成した。</p>
<p>健康・安全</p>	<p>一人一人の表情や様子を良く観察し、異常を感じた際には声掛けを行ったり、適切な対応をとるよう心掛けた。子ども自身で、健康管理ができる様、病気の予防に関心を持つよう促し、健康的な生活習慣を身に付ける事が出来たと感じる。安全面では、怪我なく過ごせる様、様々な角度から子ども達の動きを見守り、声掛けをし、子ども達に危険な行動を理解してもらったうえで、活動を進める様促した。</p>
<p>その他</p>	<p>自分の持ち物は、自己管理ができる様指導を行う事で、忘れ物が減ったり、トラブルも少なくなった。又、学童の玩具や本なども大切に使うよう促すと、自主的に片づけをしたり、整理整頓をしてくれる子が増えた。きれいな環境づくりへの意識が高まったように感じる。</p>